

## 富山市社会教育委員

【定数 18名】

任期 平成29年7月1日～平成31年6月30日

## 新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1		中西 彰	市公民館連絡協議会	市公民館連絡協議会会長
2		松本 弘行	市ふるさとづくり推進連絡協議会	市ふるさとづくり推進連絡協議会会長
3		平井 丈夫	大山地域	大山地域自治振興会連合会会長
4		亀山 溪良	八尾地域	八尾地域ふるさとづくり推進協議会会長
5		北野 孝一	学識経験者	学識経験者（富山国際大学名誉教授（元地域学部長））
6		寺西 外美	学識経験者	学識経験者（元富山県生涯学習・文化財室 家庭成人教育班長）
7	H29.7.1 新任	吉藤 重弘	小学校長会	市小学校長会副会長
8	H29.7.1 新任	塩刈 裕之	中学校長会	市中学校長会副会長
9	H29.7.1 新任	河上 仁栄	市PTA連絡協議会	市PTA連絡協議会会長
10	H29.7.1 新任	埜田 諭	市体育協会	市体育協会専務理事
11	H 29.7.1 新任	水本 三郎	大沢野地域	NPO法人こば理事長
12	H 29.7.1 新任	山口 吉弘	婦中山田地域	婦中山田地域ふるさとづくり推進連絡協議会会長
13	H 29.7.1 新任	橘 真理子	学識経験者	学識経験者（元富山市生涯学習課長・図書館長）

## ●富山市社会教育委員条例

第1条 本市に社会教育法(昭和24年法律第207号)第15条第1項の規定に基づき、社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

第2条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、富山市教育委員会(以下「委員会」という。)が委嘱する。

第3条 委員の定数は、18名以内とする。

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## 旧委員（参考）

		氏 名	推薦団体等	役職名
1		中西 彰	市公民館連絡協議会	市公民館連絡協議会会長
2		松本 弘行	市ふるさとづくり推進連絡協議会	市ふるさとづくり推進連絡協議会会長
3		平井 丈夫	大山地域	大山地域自治振興会連合会会長
4		亀山 溪良	八尾地域	八尾地域ふるさとづくり推進協議会会長
5		北野 孝一	学識経験者	学識経験者（富山国際大学名誉教授（元地域学部長））
6		寺西 外美	学識経験者	学識経験者（元富山県生涯学習・文化財室 家庭成人教育班長）
7	（退任）	有沢 彰	小学校長会	市小学校長会副会長
8	（退任）	田中 万希子	中学校長会	市中中学校長会幹事長
9	（退任）	庄司 昌弘	市P T A連絡協議会	市P T A連絡協議会会長
10	（退任）	釣谷 祐一	市体育協会	市体育協会専務理事
11	（退任）	今井 典子	大沢野地域	子育てサークルメープルシロップ代表
12	（退任）	見波 重尋	婦中地域	婦中地域自治振興連絡協議会会長
13	（退任）	河原 順子	学識経験者	学識経験者（元富山市生涯学習課長）
14	（退任）	中野 満能	学識経験者	学識経験者
15	（退任）	大間知 雄三	公募	
16	（退任）	武内 瞳	公募	

## 富山市公民館運営審議会委員

【定数 20名】

任期 平成29年7月1日～平成31年6月30日

## 新委員

		氏名	推薦団体等	役職名
1		寺西 洋子	小学校長会	小学校長会副会長
2		和田 弘	市PTA連絡協議会	市PTA連絡協議会 アドバイザー
3		谷井 光昭	市公民館連絡協議会	市公民館連絡協議会副会長
4		野村 静子	市児童クラブ連絡協 議会	市自治振興会連絡協議会 常任理事
5		小川 三智子	大沢野地域	(大沢野地域) 民生主任児 童委員
6		山森 潔	大山地域	大山地域自治振興会連合会 副会長
7		谷口 秀義	婦中地域	速星地区ふるさとづくり推 進協議会 副会長
8		高田 敏成	細入地域	細入自治会連合会会長
9		種谷 祐治	学識経験者	学識経験者(富山県生涯学習イン ストラクターの会 会長)
10	H29.7.1 新任	竹本 泉	中学校長会	中学校長会 監事
11	H29.7.1 新任	下条 正	市自治振興会連絡協 議会	市自治振興会連絡協議会 副会長
12	H29.7.1 新任	森田 優弘	市ふるさとづくり推 進連絡協議会	市ふるさとづくり推進連絡 協議会監事
13	H29.7.1 新任	山口 有加利	八尾地域	青少年育成富山市民会議八 尾支部推進指導員
14	H 29.7.1 新任	吉田 良雄	山田地域	山田地区ふるさとづくり推 進協議会会長
15	H 29.7.1 新任	才木 靖子	学識経験者	学識経験者(元光陽公民館 館長)

## ●富山市公民館条例

第13条 法第29条の規定に基づき、富山市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が委嘱する。

3 審議会は、委員20人以内をもって組織する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 審議会の運営その他必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## 旧委員（参考）

		氏 名	推薦団体等	役職名
1		寺西 洋子	小学校長会	小学校長会副会長
2		和田 弘	市P T A連絡協議会	市 P T A 連 絡 協 議 会 アドバイザー
3		谷井 光昭	市公民館連絡協議会	市公民館連絡協議会副会長
4		野村 静子	市児童クラブ連絡協 議会	市自治振興会連絡協議会 副会長
5		小川 三智子	大沢野地域	（大沢野地域）民生主任児 童委員
6		山森 潔	大山地域	大山地域自治振興会連合会 副会長
7		谷口 秀義	婦中地域	速星地区ふるさとづくり推 進協議会 副会長
8		高田 敏成	細入地域	細入自治会連合会会長
9		種谷 祐治	学識経験者	学識経験者（富山県生涯学習イン ストラクターの会 会長）
10	（退任）	新夕 雅彦	中学校長会	中教研顧問
11	（退任）	山本 勝	市自治振興会連絡協 議会	市自治振興会連絡協議会 副会長
12	（退任）	中川 尚孝	市ふるさとづくり推 進連絡協議会	市ふるさとづくり推進連絡 協議会副会長
13	（退任）	小西 百合子	八尾地域	旧八尾町図書館協議会委員
14	（退任）	石崎 貞夫	山田地域	山田地区ふるさとづくり推 進協議会会長
15	（退任）	藤井 眞智子	学識経験者	学識経験者 （元山室公民館長、元男女共 同参画推進センター所長）
16	（退任）	堀田 邦雄	公募	

## 富山市市民学習センター運営協議会委員

【定数 12名】

## 新委員

任期 平成29年7月1日～平成31年6月30日

		氏名	区分	役職名
1		上野 幸夫	有識者	職藝学院・教授
2		中村 義朗	有識者	富山大学名誉教授 (専門分野 音楽)
3		藤田公仁子	有識者	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 教授
4		田中 裕子	市民大学講師	体操インストラクター 「リズム体操」講師
5		萩中 幸雄	市民大学講師	富山県美術連合会常任相談役 「洋画」講師
6		深井 康子	市民大学講師	富山短期大学教授 「健康生活の知恵」「飛越往来」講師
7		五十嵐俊子	市民大学受講者	H22 より市民大学受講 H29「郷土史」「歴史史料と出会う」受講
8		永井 節子	市民大学受講者	H24 より市民大学受講 H29「家庭でできる『やくぜん料理』」受講
9		毛利みち代	市民大学受講者	H25 より市民大学受講 H29「日本画(大沢野)」受講
10	H 29.7.1 新任	高橋剛一郎	有識者	富山県立大学地域連携センター所長
11	H 29.7.1 新任	木本 秀樹	市民大学講師	職藝学院・非常勤講師 「歴史史料と出会う」「郷土史」講師
12	H 29.7.1 新任	奥井 輝男	市民大学受講者	市民大学学友会会長 H20 より市民大学受講 H29「洋画」「短歌を楽しむ」受講

## ●富山市市民学習センター条例

第14条 センターの運営に関し必要な事項を協議するため、富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、生涯学習に関し優れた識見を有する者及び生涯学習関係団体等を代表する者のうちから委員会が委嘱する。

4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

## 旧委員（参考）

		氏 名	区 分	役職名
1	会長 (議長)	深井 康子	市民大学講師	富山短期大学教授 「健康生活の知恵」講師
2	職務代理者	中村 義朗	市民大学講師	富山大学名誉教授 「日本のこころの歌をたずねて」講師
3		上野 幸夫	有識者	職藝学院・教授
4		藤田公仁子	有識者	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 教授
5		田中 裕子	市民大学講師	体操インストラクター 「リズム体操」講師
6		萩中 幸雄	市民大学講師	富山県美術連合会常任相談役 「洋画」講師
7		五十嵐俊子	市民大学受講者	H22 より市民大学受講
8		永井 節子	市民大学受講者	H24 より市民大学受講
9		毛利みち代	市民大学受講者	H25 より市民大学受講
10	(退任)	前田 幸男	有識者	富山県立大学地域連携センター 元所長
11	(退任)	高野さおり	有識者	(株) まちづくりとやま MAG.net 担当
12	(退任)	早川 志朗	市民大学受講者	市民大学学友会元会長

平成 29 年 6 月 定例会  
一般質問

教員の多忙化解消関係

●教員勤務実態調査について

『公明党 松井 桂将 議員』平成 29 年 6 月 8 日(木)

(問 1) 「教員勤務実態調査」の結果が公表されたが、本市の小中学校の勤務の実態、いわゆる過重労働について、どのように認識しているのか。

(答) 教員は、長時間勤務への問題意識が薄いと認識している。また、教員は、元気な状態で児童生徒と向き合うことが大事だと考えており、長時間勤務によって、教員が常に疲れた状態にあることは、教育の質の低下を招くこととなり、働き方について自ら考えることは、教員自身のためだけでなく、児童生徒のためにこそ、必要であると考えている。 【学校教育課】

『日本共産党 小西 直樹 議員』平成 29 年 6 月 9 日(金)

(問 2) 小中学校における勤務時間の実態調査は実施しているのか。

(答) 今年度、まずは小学校 6 校、中学校 5 校をモデル校として、勤務時間の実態調査を実施している。 【学校教育課】

(問 3) いつまでどのような方法で実施するのか。

(答) 教員一人一人が出勤時刻と退勤時刻を入力することで、自動的に勤務時間が記録、集計できるシステムを利用し、調査を行っている。今後、モデル校での実態調査を踏まえ、調査方法の改善等を行い、来年度には、市内全小中学校で調査を実施したいと考えている。 【学校教育課】

●多忙化解消の取り組みについて

『光 島 隆之 議員』平成 29 年 6 月 9 日(金)

(問 4) 教員の多忙化解消のための取り組みについて問う。

(答) I C T を活用し、市内共通の成績処理システムを運用して、通知

表や指導要録の作成等、成績処理に要する時間の短縮に努めたり、学校における、行事の見直しや会議の効率化を図るとともに、一部の教員に過重な負担がかからないよう、適正に業務を割り振るなど、多忙化解消に向けた取り組みを進めている。 【学校教育課】

(問5) 多忙化解消に向けて現場の意見をどのように吸い上げているか。

(答) 市教育委員会では、毎年、市内全小・中学校を訪問して、校長と面談する機会を設けたりしている。 【学校教育課】

### ●部活動指導員制度について

『公明党 松井 桂将 議員』平成29年6月8日(木)

(問6) 部活動指導員制度の活用について、今後の取組を問う。

『光 島 隆之 議員』平成29年6月9日(金)

(問7) 部活動指導員において、部活動指導員の活用などが挙げられているが、その活用についてどのように考えているか。

(答) 今年3月に学校教育法施行規則の一部が改正され、学校における部活動の指導体制の充実を図るために、部活動指導員の名称及び職務等が明らかにされた。財源等、不明な部分も多いことから、今後、国や県などの対応を注視していきたいと考えている。 【学校教育課】

### ●正規教員の配置について

『日本共産党 小西 直樹 議員』平成29年6月9日(金)

(問8) 本来、正規教員を配置すべきところ配置されていないのは、小学校、中学校でそれぞれ何人いるか。

(答) 今年度の正規教員の不足を補う欠員補充講師は、小学校74人、中学校23人、合計97人であり、市内の小・中学校全教員数1,645人に占める欠員補充講師の割合は、5.9%となっている。 【学校教育課】

(問9) 正規教員や事務職員の増員が必要と考えるが、所見を問う。

(答) 根本的に教員の負担を軽減するには、小・中学校の教員を増やすこと以外に解決策はないと考えており、今後とも、市町村教育委員会連合会などを通して、県教育委員会に、正規教員の増員や事務職



員の適正な配置を、強く働きかけていきたいと考えている。

【学校教育課】

## 教育環境関係

### ●小中学校へのエアコン設置について

『自由民主党 竹田 勝 議員』平成29年6月9日(金)

(問1) 早急に月岡小学校特別教室にエアコンを設置することについて  
見解を問う。

(答) 月岡小学校では、耐震補強工事と一体のものとして空調設備の整備を予定していたが、詳細調査の結果を受け、一旦、工事を見直した。特別教室は、見直し後の耐震化工事の対象とはならないこともあり、学校耐震化計画とは切り離して、予定どおり、来年の夏に間に合うように対応したいと考えている。 【学校施設課】

『自由民主党 金谷 幸則 議員』平成29年6月12日(月)

(問2) 普通教室へのエアコン設置について、リース事業も含めて今後の計画等を問う。

『会派誠政 尾上 一彦 議員』平成29年6月12日(月)

(問3) P T A等から強く要望のあった学校を優先して調査や整備を行ってはどうか。

(問4) 小学校の調査も含め、何年程度で全小・中学校に設置していくのか。

『日本共産党 赤星 ゆかり 議員』平成29年6月13日(火)

(問5) 普通教室へのエアコンの導入について、早期に全市立小・中学校への設置を進めるべきと考えるがどうか。

(答) 統合整備を予定している八尾、杉原を除くすべての中学校を対象に調査を実施し、引き続き次年度以降に、小学校の調査を進めていきたいと考えている。これらの調査の中で、必要な電源設備やランニングコストなどを把握し、整備方法等を検討したうえで、導入計画を策定することとしていることから、実際の空調の導入について、詳細は何も決まっていない。 【学校施設課】

## ●通学路交通安全プログラムについて

『自由民主党 松井 邦人 議員』平成29年6月9日(金)

(問6) このプログラムでは合同点検を定期的に行うとなっているが、具体的にどのような手法で行い、危険箇所の把握を行っているのか。

(答) 平成28年度は、信号機のない交通量が多い交差点や、横断歩道がない等、特に危険度の高いと判断した、小学校24校35箇所において、警察や道路管理者、学校関係者等で実施した。今後は、すべての小学校において、5年ごとの点検サイクルとなるよう、残る小学校41校について、順次実施していきたいと考えている。

【学校教育課】

(問7) 対策必要箇所について、どういう優先順位をつけて対応しているのか。

『日本共産党 赤星 ゆかり 議員』平成29年6月13日(火)

(問8) 富山市通学路交通安全プログラムが作成され、その中の危険箇所を解消するのに予算の確保も含めて、スピード感をもって対応すべきと思うが、市の対応について問う。

(答) 本市が取り組んでいる市道については、歩道整備や区画線の引き直し、カーブミラーの設置などが必要であり、危険度が高いものを優先的に取り組むこととしている。

【学校教育課】

『自由民主党 松井 邦人 議員』平成29年6月9日(金)

(問9) 合同点検の実施や対策の検討をする前段階として、PTAと地域が中心となった危険箇所発見作業を行った方がより効果的であり、そのことに対して本市が支援する制度を創設することも考えられないか。

(答) 各小学校では、年度当初にPTAや地域の協力を得て、危険箇所を把握しており、その報告を基に、合同点検を実施し、対策等の検討を行うこととしている。

【学校教育課】

(問10) 対策効果の把握に関してもPTAや地域の方への意見聴取を行った方がより良いのではないか。

(答) 対策効果については、各小学校を通じて、PTAや地域の交通安

全協会、学校安全パトロール隊等から意見を伺うこととしている。  
【学校教育課】

(問 11) 今後どの様に富山市通学路交通安全プログラムを周知していくのか。また、幅広い危険に対応できるプログラムに発展することは可能か。

(答) 本年3月末に市ホームページに掲載するとともに、全ての小学校65校に通知した。今後は、順次各小学校区で、合同点検をPTAや地域の方と一緒に実施していくことで、このプログラムの周知につながっていくものと考えている。なお、小学校毎の通学路の設定の際に、今後、「富山市通学路交通安全プログラム」を連携させていくことで、より効果的な運用を図っていきたいと考えている。  
【学校教育課】

『社会民主党議員会 東 篤 議員』平成29年6月12日(月)

(問 12) 富山市通学路交通安全プログラムにおける合同点検の利点と課題について問う。

(答) 利点は、国、県、市、警察、教育委員会で、それぞれが管轄する危険箇所を直接、確認し、それぞれで対策を講じるということであると考える。今後、5年ごとにPDCAによる点検サイクルとなるよう順次実施していく中で、課題が生じた場合には、その都度解決を図っていきたいと考えている。  
【学校教育課】

## ●学校施設耐震化について

『フォーラム38 大島 満 議員』平成29年6月12日(月)

(問 13) 耐震補強工事を予定している7校の詳細調査の中で、月岡小と同様に問題があった場合、平成33年度の耐震化の達成は可能なのか。また、財政的な見通しについてはどうか。

(答) 今後は、調査の結果を踏まえて、改めて整備方針を定めることとしているが、平成33年度の耐震化の目標については、今のところ変更していない。また、耐震化に要する費用については、調査の結果に基づき改めて算定することになり、今後とも、国の交付金などの財源の確保に努めていきたいと考えている。  
【学校施設課】

## ●統合中学校整備事業について

『フォーラム38 大島 満 議員』平成29年6月12日(月)

(問14) 事業者に対するアンケート調査の目的と調査結果に対する考えを問う。

(答) 民間の資金やノウハウを学校の施設整備や運営に取り入れるPFIの導入可能性について調査することを目的としたものである。  
調査結果からは、多くの事業者が本事業への高い参画意欲を持っていることが判り、PFIでの事業の実現可能性が高いものと考えている。 【統合校整備等推進室】

(問15) アンケート調査では、前提条件として校舎等の細かい仕様が示されているが、今後、地元住民の要望を反映する余地はあるのか。

(答) 本年12月に、設計業務や建設業務等の基本的な考え方を示した、要求水準書を公表する予定としており、今後、地元から寄せられた意見や、八尾地域統合中学校建設推進協議会からの要望等も参考に、作成していきたいと考えている。 【統合校整備等推進室】

(問16) アンケート調査では、工期に関する質問もあったが、開校時期を1年前倒しすることは可能か。

(答) 事業者からは、工期の短縮は難しいとの回答が多くあったことや、地域の声を聞く期間も必要であることから、計画どおり、平成34年4月の開校を目指して事業を進めていきたいと考えている。 【統合校整備等推進室】

(問17) PFI手法による統合中学校整備事業への参加意向がある企業は何社あったのか。

(答) 全国の主だった企業25社に調査を行ったところ、23社から回答があり、その中で、本事業への参加の意向を示した企業は15社、そのうち、積極的に参加したいと回答した企業は6社であった。 【統合校整備等推進室】

## 学校規模関係

### ●堀川南小学校について

『自由民主党 久保 大憲 議員』 平成 29 年 6 月 9 日(金)

(問 1) 学級数について、平成 35 年度までの推移の見込みを問う。

(答) 現在、児童数は 815 人で、学級数は、通常級 24 学級、特別支援級 3 学級の計 27 学級である。住民基本台帳を基に、毎年度行っている 6 年後までの児童数の推計では、平成 35 年度には通常級 30 学級となり、特別支援級を現在の 3 学級と仮定すれば、計 33 学級となるものと見込んでいる。 【学校教育課】

(問 2) 収容能力、学級数は、増加傾向にある児童数に対して限界に近いのではないか。

(問 3) 収容能力が限界を超えるとすれば、増築が必要ではないか。また、それに向けた予算などが必要になるのではないか。

『日本共産党 赤星 ゆかり 議員』 平成 29 年 6 月 13 日(火)

(問 4) 児童数の増加に対応して、増築などにより広いゆとりのある校舎を検討すべきと思うが、見解を問う。

(答) 今後しばらくは、児童数が増加すると想定しているが、過去には想定を下回った例もあり、その推移を慎重に見極めながら、既存の学校施設の配置の見直しや必要な施設の整備等について、予算措置も含め、検討していきたいと考えている。 【学校施設課】

『日本共産党 赤星 ゆかり 議員』 平成 29 年 6 月 13 日(火)

(問 5) 敷地に余裕がないことから、他の場所での改築や学校敷地の拡張などは考えられないか。

(答) 市教育委員会としては、他の場所での改築や学校敷地の拡張については考えていない。 【学校施設課】

## ●小規模校（小学校）の存続について

『社会民主党議員会 村石 篤 議員』 平成 29 年 6 月 8 日(木)

(問 6) 市内の小学校の小規模校は、平成 29 年 5 月 1 日現在 37 校となっているが、富山市公共施設等総合管理計画に基づき、小規模校の統合について検討を始めているか。

(答) 小学校65校の内、11学級以下の小規模な学校は、昨年度より1校増えて37校である。現在、小規模小学校の統合についての検討は行っていないが、小学校教育においては、一定の集団規模が確保されていることが望ましいことから、将来的には、避けて通ることはできないものと考えている。 【教育総務課】

(問7) 複式学級のある学校において、他の学校と合同授業や合同行事を行っている事例があるか。

(答) 福沢小学校と小見小学校では、全児童が1日を共に過ごし、図画工作の授業で、共同作品を作ったり、体育科の授業で、少人数ではできないバスケットボール等のゲームを行っている。檜尾小学校では、八尾小学校と合同で陸上練習会を行い、多人数で競い合うことで、子どもたちの運動に対する意欲を高めている。 【学校教育課】

(問8) 複式学級のある学校において、保護者や地域とどのように連携し、少人数を生かした指導を充実させているか。

(答) 複式学級のある小規模な学校では、地域住民とのふれあいの機会を多くもつことができることや、一人一人の子どもの状況に応じたきめ細かな指導ができることなどを生かして、充実した活動を実施している。 【学校教育課】

## 教育関係

### ●インターネット教育について

『会派誠政 尾上 一彦 議員』平成29年6月12日(月)

(問1) インターネット犯罪で、問題が重大化する前に察知できる仕組みづくりが必要ではないか。

(答) 県の教育委員会では、個人に対する誹謗中傷の書き込みや未成年が飲酒・喫煙する画像の投稿等、不適切な情報をいち早く察知するためにネットパトロールを行っており、本市に関係のある情報が見つかった場合には、市教育委員会に情報が提供されることから、今後とも、迅速かつ的確に対応したいと考えている。 【学校教育課】

(問2) 小・中学校でのインターネット教育や利用ルールづくり等の進捗状況を問う。

(答) 小中学校におけるインターネット教育については、正しいネットの利用方法やネットトラブルへの対処について、授業等で実施している。また、昨年度より、中学1年生を対象に「情報モラル中1講座」を開催しており、市内全ての中学校を訪問し、インターネットの便利さとともに、その裏側に潜む危険性について、分りやすいよう事例を挙げて指導している。各学校におけるインターネット利用のルール<sup>の</sup>作成状況については、小学校65校のうち35校、中学校26校のうち14校の合わせて49校である。 【学校教育課】

## 公民館関係

### ●公民館、地区センターの耐震化について

『自由民主党 江西 照康 議員』平成29年6月8日(木)

(問1) 市立公民館のうち旧耐震基準により建設された公民館は何館あり、その耐震状況はどのようになっているか。

(答) 平成29年5月末時点で20館あり、このうち、耐震化対策が必要なものは倉垣、八尾、奥田北、長岡、船峯公民館の5館である。これらの耐震化が必要な公民館については、総合計画に位置付けて順次整備を行っており、今年度は、倉垣公民館の改築工事と、八尾公民館の実施設計を行っている。 【生涯学習課】

(問2) 耐震化については、改築又は改修等の方法があるが、どのように取り組もうと考えているか。

(答) これまでも地域の実情に応じて改築や改修を行ってきており、今後、耐震化が必要な3館(奥田北、長岡、船峯)においても、施設の現況等を勘案しながら、改築又は改修等の方法について、検討していきたいと考えている。 【生涯学習課】

(問3) 最近の公民館の利用内容について、以前と比べてどのように変わってきているか。

(答) 公民館は、様々な学習・文化活動や地域団体の会合等に利用されており、最近も、特段変わってないが、高齢化の進展に伴い、公民館利用者も年々高齢化してきている。このため、近年整備した公民館は、平屋建てでの整備を基本とし、2階建てとなるものについては、エレベーターを配置するなど、配慮している。 【生涯学習課】

(問4) 公民館の改築計画を作成する際に、その地域に公民館以外の公共、民間を問わず住民が集える施設が少ないところを優先することはできないか。

(答) 公民館の改築については、地域における他の公共施設等の有無にかかわらず、施設の老朽化などを勘案しながら順次整備を進めている。まずは耐震化の必要な3館(奥田北、長岡、船峯)の整備を優先的に行うこととしている。 【生涯学習課】

## その他

### ●恐竜足跡化石発掘地の保全と観光資源化に向けた取り組みについて

『自由民主党 泉 英之 議員』平成29年6月12日(月)

(問1) なぜ「夏休み恐竜探検隊」の定員を削減したのか。

(答) 平成18年度より毎年8月に開催している。平成26年度までは、1日に50人、2日間で定員100人としていた。ここ数年、申込人数が80人から60人台に減少し、最も人気のある発掘体験の準備が、近年難しくなっていることから、平成27年度以降、定員を50人として実施することとした。 【科学博物館】

(問2) 恐竜化石発掘地の保全に向け、市の天然記念物への早期指定と調査促進について問う。

(答) 保全に関しては、今年度、一部実施し、今後も、必要な保全策を講じていきたいと考えている。また、現在、現地において、専任の学芸員を中心に発掘調査を進めているため、天然記念物に指定するとしても、まだまだ先になるものと考えている。 【科学博物館】

### ●奨学資金貸付に係る滞納状況と対策について

『フォーラム38 大島 満 議員』平成29年6月12日(月)

(問3) 現在の奨学資金貸付の滞納の状況とその対策について問う。

(答) 滞納繰越額は、平成29年度当初で約288万円である。滞納者本人との面談等を行い、分納の計画等を立てていただいている。引き続き、滞納者の自宅への訪問、連帯保証人からの徴収等を行い、債権管理対策課と連携し、新規の滞納発生の防止と滞納額の縮減に取り組んでいきたいと考えている。 【学校教育課】



富山市科学博物館 平成 29 年度 特別展

不思議まるわかり!

# 空気が あるから

2017 7.15 土 → 9.3 日  
9:00 - 17:00  
(入館は 16:30 まで)

大人 入館料 520 円 + 特別展観覧料 100 円

平成29年 4月1日から 高校生以下 (毎日) 無料となりました

毎日  
無料

高校生  
以下



土曜  
無料

カップル



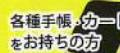
毎日  
無料

対象地域 (注) 在住の  
祖父母 + 孫



毎日  
無料

富山市在住  
70 歳以上



各種手帳・カード  
をお持ちの方

団体  
割引

バスか、科学博物館友の会  
越中チャレンジ合格者  
富山市内周遊ぐるっとBUS  
ジョイフルカード  
富山まちなか岩瀬1日フリーきっぷ  
えこまいか

他にも各種割引があります。  
詳しくはお尋ねください↓

# 20をこえるナゾを解く、 実験・体験装置 がキミを待っている!!

どうして空は青くて夕焼けは赤い？海に波ができるのはなぜ？そのヒントは空気にある!

## 青空と夕焼け？

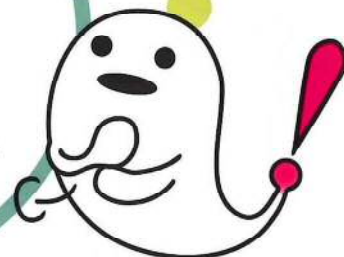
- 山が青い？
- 蟹気楼？
- 空気砲？
- 風チューブ？
- 逆さに浮かぶボール？
- 風が吹く？

## 海の波？

- 音が聞こえる？
- 音で動く？
- ヘリコプターが飛ぶ？
- 羽根がふわふわ？
- エアコンの冷たい風？
- 変化球？

## 空気で浮く？

- 風船が浮く？
- 吸盤が張り付く？
- 手押しポンプ？
- 真空バズーカ？
- 水が100℃で沸騰？



オバケのくーきん

# イベント

## 科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー 空カボディ

7月16日(日) 10:00 - 12:00

内容：クルマの形と空気の流れについて実験し、空気抵抗の少ないクルマ模型作りに挑戦します。

対象：小学4～6年生

定員：30人(抽選)

講師：トヨタ技術会メンバー

その他：無料、要申込(7/7必着)

主催：富山市科学博物館、トヨタ自動車(株)

協力：トヨタ技術会



## 科学教室

## はばたき飛行機をつくろう

8月6日(日) 14:00 - 15:30

内容：部品を3Dプリンタで作り、輪ゴムの力ではばたいて飛ぶ飛行機を作ります。

対象：小学4～6年生

定員：10人(抽選)

その他：無料、要申込(7/27必着)

主催：富山市科学博物館

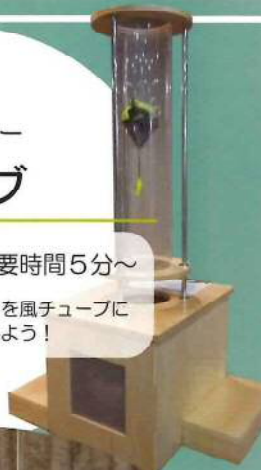


## 常設工作コーナー

## 風チューブ

毎日開催 所要時間5分～

自分で作ったプロペラを風チューブにアップして飛ばしてみよう!



みんな来てね～ まってるよ～

空気ロボット「オバケのくーきん」と「クロネコのみーにゃん」

## ★期間中のプラネタリウム★

平日	休日
10:00 ミュージアム・アライブ	10:00 ミュージアム・アライブ
11:15 ドラえもん	11:15 ドラえもん
	12:30 ダークユニバース
13:30 ミュージアム・アライブ	13:30 ミュージアム・アライブ
	14:30 ドラえもん
15:45 ダークユニバース	15:45 ダークユニバース

7/16・30、8/13・27(日)

15:45の回は、スペシャルプラネタリウム(別プログラム)です。

## 夏の新番組



© Colossus Productions, Ltd.

## ●アクセス●



特別展

# 箕牛人

# 彩色画名品展

**前期** 平成29年7月2日(日)~10月15日(日)

前期期間中無休

**後期** 10月18日(水)~平成30年2月12日(月・祝)

後期期間の休館日12月28日~1月4日・2月2日

※後期期間の2月3日~12日は1階展示室での展示となります



〒930-0881 富山市安養坊1000番地  
TEL&FAX(076)433-9215  
<http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/minzokumingei/>

開館時間:9時~17時(入館は16:30まで)  
観覧料:大人100円・高校生以下無料  
展示解説会:7月8日(土)14:30~・10月28日(土)14:30~

MEMORIAL ART GALLERY OF GYŪJIN TKAMURA  
富山市箕牛人記念美術館

特別展

# 箕牛人彩色画名品展



なまずと鯉

箕牛人の彩色画は、渴筆技法という異才を放つ独特の墨画とは一線を画しており概ね4つの要素からなっています。多様な作風に接して、牛人の心境を推し量ることで鑑賞の愉しみが広がります。

前期

平成29年

7月2日(日)～

10月15日(日)

前期期間中無休



モリノナカヨリ…

後期

10月18日(水)～

平成30年

2月12日(月・祝)

後期期間の休館日

12月28日～1月4日・2月2日

※後期期間の2月3日～12日は

1階展示室での展示となります



二人の裸婦



菩提達磨

## 富山市箕牛人記念美術館

〒930-0881 富山市安養坊1000番地 TEL&FAX (076) 433-9215

<http://www.city.toyama.jp/etc/minzokumingei/>

■開館時間 9時～17時(入館は16:30)

■観覧料 大人100円・高校生以下無料

### 交通案内:

車/JR富山駅から約10分 駐車場無料

バス/地鉄バス富山駅前⑦のりばから呉羽山老人センター行富山市民俗民芸村下車すぐ又は新桜谷行安養坊下車徒歩5分

ぐるっとBUS/富山駅前②のりばから北西回りルート民俗民芸村下車

### 案内図

